

広島大学現代インド研究センターの新設について

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構の地域研究推進事業における現代インド地域研究の拠点（全国6拠点の一つ）として、大学院文学研究科岡橋秀典教授を代表とする研究組織が採択され、平成22年4月から5年間拠点形成事業を実施することになりました。

地域研究推進事業においては、人間文化研究機構と拠点大学が研究拠点施設を共同設置する必要があるため、平成22年4月に新たな学内共同教育研究施設として「現代インド研究センター」を設置し、現代インド地域研究を推進していきます。センターの設置期間は、地域研究推進事業を実施する5年間の時限設置です。（ただし、実績評価によりさらに5年間の事業継続が可能）

現代インド研究センターには、現代インドの空間構造と社会変動の解明に力点を置いた3つの研究部門を設置しています。

1. 経済発展部門（テーマ：経済発展と空間構造の変動）
2. 都市・農村部門（テーマ：都市・農村の発展と社会変動）
3. 空間情報部門（テーマ：地理情報システム（GIS）による空間情報の基礎研究）

現代インド研究センターは、これまでの研究蓄積と収集資料を生かし、世界的な研究拠点を確立するとともに、他の5拠点と連携して、国内および国際的研究ネットワークを構築し、研究成果の公開と研究交流の推進を図ります。

【地域研究推進事業の経緯】

インドは、貧困問題、民族紛争、環境破壊など多くの問題を抱えてきたが、近年急速な経済発展を遂げ、新興経済大国としてグローバル・プレゼンスを増している。21世紀の世界の動向を理解するには、現代インドの総合的な研究が不可欠であるが、日本におけるインドに関する総合的な地域研究および拠点研究は著しく立ち後れている。これに対応するために人間文化研究機構は、平成22年度より広島大学、京都大学、東京大学、東京外国語大学、国立民族学博物館、龍谷大学の6大学・機関を拠点に選定し、各大学・機関が協力して研究拠点の形成とネットワークの構築を進める事業を開始した。

【お問い合わせ先】

文学研究科
教授 岡橋秀典
TEL:082-424-6655